

大阪総合保育大学児童保育論集創刊 巻 頭 言

大阪総合保育大学 学長 大 方 美 香

このたび、学校法人城南学園の全面的なご支援を得て、「大阪総合保育大学児童保育論集」が創刊されました。創刊にあたり、御尽力いただきました紀要編集委員会の皆様には心より感謝御礼申し上げます。

大阪総合保育大学は、平成18年（2006年）4月に開学されて以来、「大阪総合保育大学紀要」を発行し続けてまいりました。現在、第15号まで刊行されていますが、査読付きの論文集として学内外より高い評価を得ています。

本学は、「自主自律」「清和気品」「敬天愛人」という3つの建学の精神及び、保育者・教育者の養成機関としての使命に基づき、教育研究活動を行ってまいりました。この間、博士前期課程、博士後期課程が設置され、日本の保育・教育界をリードする大学にまで発展してきました。博士論文の執筆過程において、査読論文は必須です。専門性ある知見に基づいた丁寧な査読に、どれだけ院生が助けられていることでしょうか。

平成26年度には日本保育学会第67回大会が本学にて開催され、そのおもてなしと学術的知見の提案により、知名度も高まりました。城南学園全体が一体となった大会は、いまなお、語り継がれています。この実績は、教職員の皆様のご尽力に他なりません。

教員の研究業績は、ますます大学として問われる時代となってまいりました。免許・資格を出す養成校として、科目ごとの専門的業績が求められています。そのため、「大阪総合保育大学紀要」に並ぶ「大阪総合保育大学児童保育論集」の創刊は、長い年月の願いでした。創刊号には、多くの教員から玉稿をお寄せいただき、この上ない喜びを感じています。

大阪総合保育大学の魂は、学生の養成と研究の両輪を基盤としています。特に、教育学・保育学の構築は、保育・乳幼児教育の未来に向かう社会的使命でもあります。この「大阪総合保育大学児童保育論集」が契機となり、保育・乳幼児教育の多様な知見や実践、学びの探究が深まりますよう祈念しています。

2022年3月20日